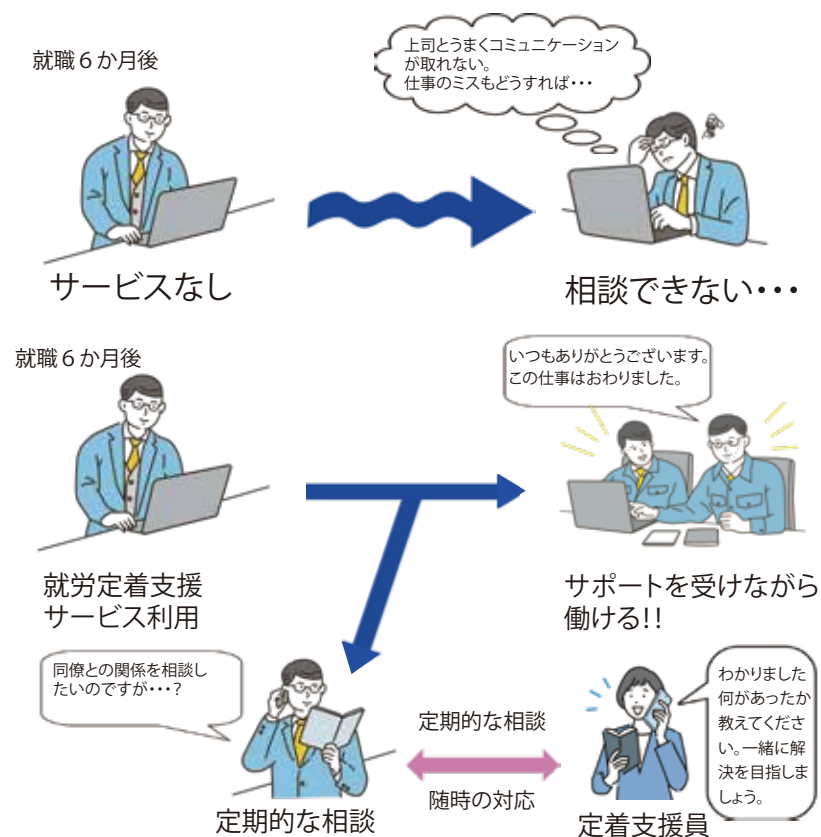


就労定着支援サービスとは

Q & A

就労移行支援などを利用し、一般就労に移行した障害者が6か月以上経過し、就労に伴う環境変化により、生活面・就業面に課題が生じている状態をサポートします。



支援者が、月1回以上のペースで障がいがある方と面談をし、職場での環境や生活リズムを伺い、どんな課題があるのかを把握します。そのうえで、課題解決のためのアドバイスや勤務先への訪問、医療機関や福祉機関との連携を図って、働きやすい環境へとつなげます。

ここが就労定着支援のポイント



最大3年間利用できる

利用期間

3年間を上限し、毎年度利用が必要かを確認します。支援を終了する場合は、必要に応じて障害者就業・生活支援センター等へ引き継ぎます。



毎月サポートがある。

支援内容

利用者さんの自宅・企業に月1回以上対面支援を行うとともに、月1回以上企業訪問を行うよう努めます。

Q どこでサービスを受けられるの？

A 一定数以上の一般就職者を出している福祉サービス事業所が認可を取り、サービスを提供しています。ここから未来・みらさぽもサービス提供者です。

Q どれくらいの期間使えるの？

A 期間の上限は3年間です。就職後半年間は、それまでに利用した事業所の職場定着支援が行われます。その後最大3年間が、就労定着支援の期間です。

Q 費用が知りたいです。

A 前年度収入の1割が自己負担です。就職2年目から自己負担額が発生する場合があります。



まずはお気軽にご相談ください



就労定着支援事業所
みらさぽ

〒080-0802 帯広市東2条南5丁目13

☎0155-67-0234

月～金 9:00～17:30

✉ kokomira@dg8.so-net.ne.jp

webサイトはこちら



就労定着支援とは

就労定着支援とは「障害者総合支援法」に基づく障がい福祉サービスのひとつです。福祉サービスを利用した後の就職を、最大3年間働きながら支援受けられる、職場に定着する環境づくりを支える就労支援サービスです。



就労定着支援事業所
みらさぽ

ご利用ガイド

個性を強みに、強みを社会の価値に
私たちは障がいのある方の未来に
よきパートナーでありたい

モデル利用(就職)者

「みらさぽ」では常識にとらわれることなく、多様な障害特性のよき理解者でありたい。一人ひとりの個性に柔軟に向き合いながら、よりよい社会生活が送れるようお手伝いをします。

就労移行支援事業所「ここから未来」を活用して就職したのちに、定着支援を受けたいAさん

20代
女性

ここから未来を通じて、一般企業に就職しましたが、支援員さんから離れて仕事を続けることに不安を抱えています。一緒に仕事をするまではいいのですが、仕事の上での相談や困った時のサポートがあると、働き続けられそうです。



『ここから未来』以外の事業所から就職したが、6か月以上のサポートを希望するBさん

30代
男性

就労支援サービスを受けて一般就職しましたが、社会生活を送ることに不安が残ります。自分の特性を正しく理解して、必要な時にサポートしてもらえる人がいてくれたら心強いです。



こんな悩みはありませんか？

ご本人

- ・この職場で長く働いていきたい
- ・相談できる人が、職場にいない
- ・障害特性について配慮が欲しい

職場

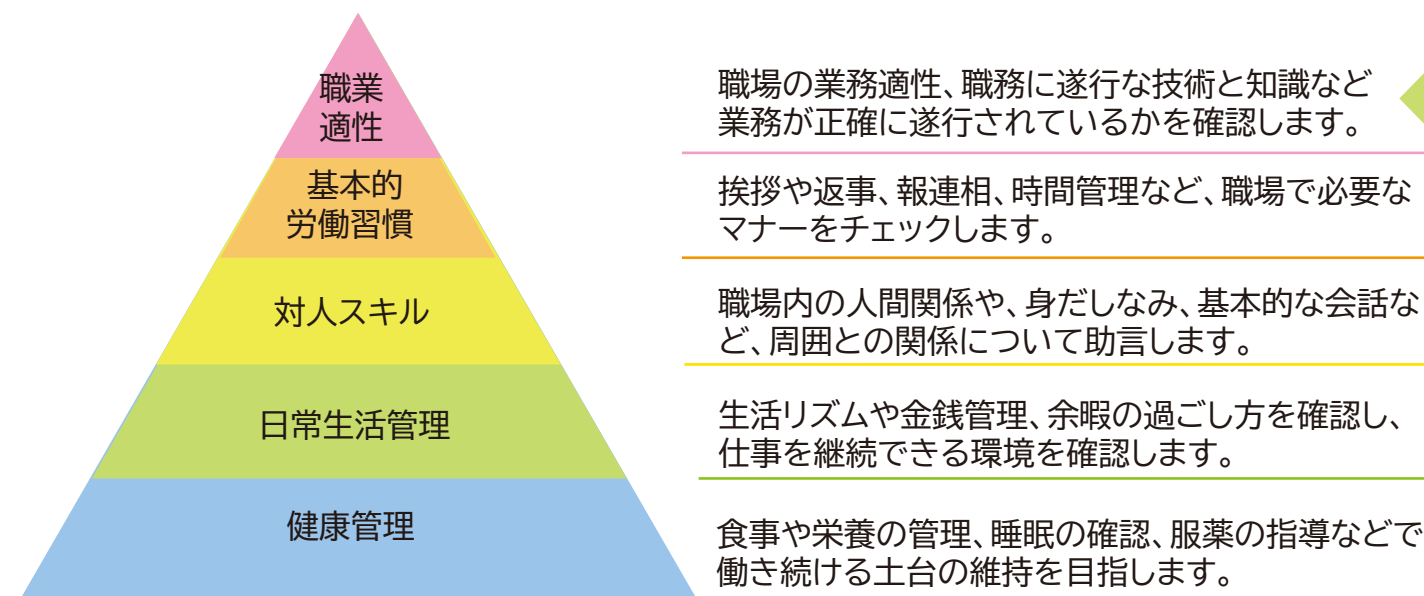
- ・勤怠を安定して働いてほしい
- ・落ち着いて仕事をしてほしい
- ・都度、確認や報告してほしい



ご本人が抱える悩みと、職場で求められている悩み両方があります。双方の課題や相談を確認し、3者で課題解決に向けた取り組みを行うことで、長くしっかり働ける環境づくりを図ります。

「みらさぽ」が考える定着に向けた応援ステップ

就労準備性ピラミッドに基づいた定着支援



就労の定着にはどうしても技術や正確さが目につきがちですが、それらは体調管理や適切な生活リズムを送ることがあった上で成り立つものになります。まずは基本的な食事や睡眠、服薬の確認から始めましょう。

個別支援計画の作成

定着支援は支援計画に沿って提供されます。支援計画の作成のために、能力や置かれている環境についての聞き取りを行い、日常生活全般の状況の評価を通じて課題の把握を行います。



就職先企業へのアプローチ



就職先企業に伺い、仕事に支障をきたしていないか、体調管理や勤怠が不安定になっていないかを確認します。また職場環境や周囲とのコミュニケーションが取れているかなど、人間関係にもトラブルがないかを確認します。

医療機関へのアプローチ



体調に変化があったり、精神的に不調が見られた際には、必要に応じて、医療機関との連携を図ります。事前のサポートによって、求職したり、働き続けるのが難しくならないよう。早めの予防とチーム支援を行っていきます。

ご家族へのアプローチ



必要に応じて、本人を支える家族とも連絡を取り、自宅での生活や、日常生活の困りごとなどの話を聞くことがあります。サポートされる方に必要な情報を説明したり、ご自身が働き続けるための協力を働きかけます。

関係者へのアプローチ



ケアマネージャーや他の福祉機関、公的な関係者とも連携を図ります。本人の日常生活に関わっている関係者からも必要があれば情報提供を求め、就労継続の後押しを行っていきます。